

第5回SDGsエコフォーラムin埼玉 申込用紙 [締切11/24(金)まで]

専用の申し込みフォームよりお申し込みいただくか、必要事項をご記入またはチェック☑の上、メールまたはFAXにてお送りください。
個人情報は目的以外には使用しません。

申し込みフォームはこちら▶
<https://forms.gle/EusxVDKwEXKGH6vM9>



E-mail: center@kannet-sai.org FAX: 048-749-1218

「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」(デコ活)とは

「新国民運動」の愛称であり、二酸化炭素(CO₂)を減らす(DE)脱炭素(Decarbonization)と、環境に良いエコ(Eco)を含む"デコ"と活動・生活を組み合わせた新しい言葉です。2050年カーボンニュートラル及び2030年度削減目標の実現に向けて、国民・消費者の行動変容、ライフスタイル転換を強力に促し、豊かなより良い暮らしを目指す国民運動です。

お名前	ふりがな	ご所属	個人の方は記入は不要です
連絡先		E-mail	オンライン希望の方のみご記入下さい
参加方法	<input type="checkbox"/> 会場 <input type="checkbox"/> オンライン (※後日、参加方法をお送りしますので、必ずE-mailをご記入ください)		

参加又は希望する箇所に☑をお願いします。定員に達し、ご参加いただけない場合はご連絡いたします。

全体会 (10:00 ~ 11:50)

<input type="checkbox"/>	・基調講演「栄養の持続可能性という見方で、SDGsエコをながめてみよう」 志村 二三夫 氏(十文字学園女子大学学長、同大学院人間生活学研究科長・教授) ・高校生SDGsスピーチ(西武台高等学校STEAMコース1学年) ・埼玉県エコアップ認証事業所表彰式
--------------------------	---

分科会 (13:15 ~ 16:30) いずれかに☑をお願いします。※会場定員各 30 名、オンライン定員各 100 名

<input type="checkbox"/>	持続可能な食を考える
<input type="checkbox"/>	生物多様性保全と地域の保護活動
<input type="checkbox"/>	子どもの未来と省エネ
<input type="checkbox"/>	生きることの豊かさへのポジティブマインドセットを考える
<input type="checkbox"/>	若者が創造する脱炭素な未来

交流会 (17:00~18:30) 申込期限: 11月24日(金)まで ※準備の都合上、直前でのキャンセルは、キャンセル料をいただきます。

<input type="checkbox"/>	交流会に参加します ※会費(2,500円程度)はご負担ください。
--------------------------	----------------------------------

報告書について (希望される方には、令和6年3月下旬に送付します)

<input type="checkbox"/> 希望する	※送料(300円)は受付時にお支払いください。 オンライン参加者には、原則着払い(送料300円程度)で送付します	<input type="checkbox"/> 希望しない
-------------------------------	---	--------------------------------

送付先住所 〒

宛名 お申込み者と異なる場合はご記入ください

様宛

第5回SDGsエコフォーラム in 埼玉実行委員会事務局

(埼玉県地球温暖化防止活動推進センター/特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉)

〒330-0074 埼玉県さいたま市浦和区北浦和5-6-5埼玉県浦和合同庁舎3階

TEL: 048-749-1217(平日9:00~16:50) FAX: 048-749-1218 URL: <https://www.kannet-sai.org/>



問い合わせ
連絡先



第5回 SDGsエコフォーラムin埼玉

つながろう 広がろう 世代を超えて

エコの環

日時 2023年12月2日(土) 10:00 ~ 16:30

会場 十文字学園女子大学 & オンライン

参加 無料 ※報告書が必要な方は送料をご負担ください

SDGsエコフォーラムin埼玉は、
「環境まちづくりフォーラム・埼玉」「低炭素まちづくりフォーラムin埼玉」の実績を継承し、
持続可能な社会の構築を見据えた新たな取組としてスタートし、今年度で5回目を迎えます。
県内において環境を中心とする活動を実践している団体、企業、行政、教育機関、
地球温暖化防止活動推進員等が一同に会し、情報交換、相互交流、情報発信等を通じて
SDGsの達成に寄与することを目的とします。

主催 第5回 SDGsエコフォーラムin埼玉実行委員会

共催 十文字学園女子大学
埼玉県地球温暖化防止活動推進センター
埼玉グリーン購入ネットワーク

後援 埼玉県、新座市

会場参加のご注意

会場内では手指消毒等の感染対策にご協力ください。なお、風邪症状がある場合や濃厚接触の疑いがある場合は、ご参加をお控えください。

なお、感染拡大状況によっては、開催方法を変更させていただく場合があります。予めご了承ください。

※環境省「令和5年度地域における地球温暖化防止活動促進事業」及び公益財団法人サイサン環境保全基金を活用して開催します

プログラム予定

10:00～10:10

挨拶

会場：9号館9417中教室

10:10～11:10

基調講演



「栄養の持続可能性という見方で、SDGsエコをながめてみよう。」

志村 二三夫氏(十文字学園女子大学学長、同大学院人間生活学専攻教授)

講師プロフィール

東京大学医学部保健学科卒(1972年)、同大学院保健学専攻博士課程修了(保健学博士)。東京大学助手、コーネル大学リサーチアソシエイト、十文字学園女子短期大学教授等を経て現職。この間、内閣府消費者委員会(新開発食品評価第一調査会座長)、厚生労働省管理栄養士国家試験委員会(総務委員)、東京都食品安全情報評価委員会(委員長)等の委員を務めた。厚生労働大臣栄養士養成成功労者表彰、日本栄養改善学会功労賞(名誉会員)等を受賞。現在、日本ポリフェノール学会理事長。

11:10～11:30

高校生SDGsスピーチ(西武台高等学校STEAMコース1学年)

11:30～11:50

埼玉県エコアップ認証事業所表彰式

11:50～13:15

休憩

13:15～16:30

分科会 ※5つの分科会を同時開催します

- ・持続可能な食を考える
- ・生物多様性保全と地域の保護活動
- ・子どもの未来と省エネ
- ・生きることの豊かさへのポジティブマインドセットを考える
- ・若者が創造する脱炭素な未来

会場

各会場は、事前にホームページに掲載しますので、事前にご確認のうえご来場ください。

17:00～18:30

交流会

会場アクセス

十文字学園女子大学

〒352-8510 埼玉県新座市菅沢2-1-28

十文字学園女子大学

不二家埼玉工場



JR武蔵野線「新座駅」より徒歩8分
会場に駐車場はございません。公共交通機関でお越しください。

分科会紹介

各プログラム詳細は、
ホームページに順次公開します
<https://www.kannet-sai.org/about/activities/2023/1202.html>



形式: 講義+ワークショップ

持続可能な食を考える

～今日、あなたは何を食べますか?～

12 つくる責任
つかう責任



毎日の「食」は、あなたとあなたの子供たちの未来を選ぶことにつながります。地球温暖化によって、気候システムが再び元の状態に戻れない急激な変化を起こすと言われてきているティッピングポイントまで後わずか。食は生産・加工・流通・消費・廃棄などの食料システムにおいて大きな環境負荷を生み出しています。日々の食から持続可能な未来を考えてみましょう。

形式: 講義+フロアディスカッション

生物多様性保全と地域の保護活動

～動植物の生息地を守り、生育環境を拓けよう～

15 陸の豊かさも
守ろう



世界各地における異常気象や災害の多発は、日本はもとより埼玉県でも多くの動植物に影響を与え、見る事が出来なくなった生きものもあります。今回は生物多様性を保全していくために、県内の身近な場所での行政や市民団体の取り組み(コウノトリやムジナモ等)を紹介します。皆で豊かな自然環境を「知り、関心を持ち、一緒に考え、行動」しましょう。

形式: 講演+フロアディスカッション

子どもの未来と省エネ

～身近にできるエコで健康に暮らせる断熱改修～

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



効果的な家庭の省エネは建物の断熱化、特に熱の移動が大きい窓の断熱が効果的です。さらに高断熱にすることで、室内の温熱環境を一定に保ち健康にも貢献します。私たちは今年度大宮小(さいたま市)で実施したワークショップをとおして断熱改修の普及に取り組みました。その取組を紹介し、今後身近にできる断熱及び省エネについて参加者と一緒に考えます。

形式: ワークショップ

生きることの豊かさへのポジティブマインドセットを考える

～女子大学生が体験した不便さをわくわく感に変える方法～

13 気候変動に
具体的な対策を



本校の特徴を生かし女子大生の視点から、省エネによる節約感や公共交通の不便さ等の窮屈を払しょくし、今の効率性追求だけの社会システムとは異なる生きることの豊かさについて議論します。意識を前向きに変えることによって、やらされ感がワクワク感に変わり、WellBeing、ひいては持続可能な社会や暮らしにつながることを共有しましょう。

形式: 事例発表+フロアディスカッション

若者が創造する脱炭素な未来

～2030年に向けて発信するライフスタイルアクション～

12 つくる責任
つかう責任



2030年の温室効果ガス半減に向けて、若者の視点で身近なライフスタイルに関するテーマを選択し発表します。その後、会場参加の社会人も交えて脱炭素に向かって自分たちが実行できるアクションについて議論します。脱炭素に向けて一歩を踏み出したい人、すでに取り組んでいる人、ぜひ集まって意見を交わしましょう。

※ワークショップ形式は、会場での参加をお勧めしますが、感染拡大状況によってオンラインに移行いただく場合があります。予めご了承ください。